

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立富士特別支援学校 富士東分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	41人

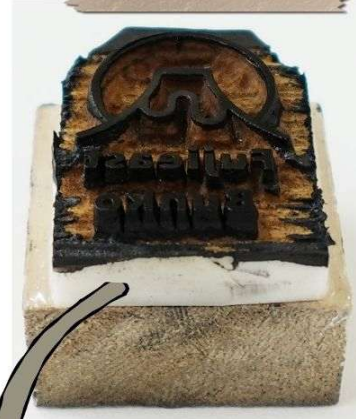
1. 使用状況

寄贈物品名	レーザーカッター
使用学年及び人数	1～3年 12人
使用頻度	週5時間程度
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校名プレート作り 40cm×15cm×1.5cmの板に校名、ロゴマーク、二次元バーコードを印字した。二次元バーコードは、スマホで読み込むと富士東分校のSNSにつながるように印字することができた。 ・校名スタンプ作り 消しゴムに校名や富士山のマークを印字し、スタンプを作った。 そのスタンプで、サステナブル班のコーヒー殻脱臭剤の袋に校名を印字した。 ・祝卒業コサージュ作り(250個製作) 紙バンド製のコサージュの枝に、一つ一つ違うメッセージを印字した。 例:「夢に向かって」「自分らしく輝いて」「挑戦を恐れずに」・・・
物品の使用による 変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・校名プレート 普段は校内に展示し、来校者に見てもらい好評を得ている。 校外で行われるイベントでも富士東分校のコーナーに展示し、二次元バーコードを読み取りSNSを見る来場者もいて、分校の広報につながっている。 ・校名スタンプ サステナブル班のコーヒー殻脱臭剤作りに活用している。スタンプ押しの工程を担当する生徒の励みになっている。 ・祝卒業コサージュ R6年度富士東高卒業生一人一人にコサージュを贈呈した。式当日は卒業生全員が左胸に身に付け、共生・共育の推進に効果があった。
今後の活用の 見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の見通し ICT活用の一環として、主に作業学習の時間に生徒が操作をして製品作りをしている。今後もさらに、ICTに関する知識と技能の習得が促進されるよう指導を続けていきたい。また、どのような新しい使い方ができるか、生徒が考える授業に活用していきたい。 ・今後の課題 消耗品の交換等、定期的なメンテナンスをどう進めていくか、方法や費用の検討が必要である。
その他 希望や所感など	<p>このレーザーカッターを使用し、様々な作品や製品を作ることができた。文字やロゴなどを細かく正確に印字することができるので、見た目にきれいに仕上げることができる。出来上がった作品を見た来校者等からは「素敵な作品ですね」と声をかけられることが多い。こうした声から、富士東分校に対する良い印象を持ってもらえたと捉えている。</p>

2. 活用の様子



レーザー カッター



作業製品に押す



富士東高
卒業生に
プレゼント



校名プレート